

## 「本で調べる」

聴覚障がい  
小学部 2 学年  
国語「本で調べる」  
情報活用能力の育成

ねらい

- 本で調べる意味や方法を知り、本を探すことができる。
- 知りたいことを本で見つけ、書き出すことができる。

## 学習展開

- ① わからないことを調べたいときにどうすればよいか、を一緒に考える。今日の学習のめあてを確認する。
- ② 知りたいことをワークシートに書く。
- ③ 本が仲間ごとに分類してあること、分類ごとに数字が決まっていることを児童に伝える。
- ④ 目次・索引が効率的に調べられることを伝え、実際に図書館で探す。
- ⑤ 図鑑で調べたことをワークシートに書き出す。調べた本の題名・ページを書く。
- ⑥ 児童が本で調べたことを担任、司書教諭と一緒に手話で確認し、ワークシートに書き出す。



司書教諭と担任の指導の元、  
目次から「アゴヒゲアザラシ」を探す児童

### 司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭と担任は学習をどのように進めていくか事前に相談し、ワークシートを作成する。
- 司書教諭と学校司書で授業にて使用する本を選定。
- 学校司書は、本が仲間ごとに分類してあること、仲間ごとに数字が決まっていることを児童に伝える。  
(司書教諭と事前相談)

### 指導のポイント

- 教科書にのっている図鑑を準備するとよい。
- 調べたことへの理解を深めるために、書かれた文を動作化するとよい。
- たくさんの情報の中から、必要な部分を読み取ることが難しい児童は、必要な部分を拡大して見れるように iPad 等を準備する。

資料

(2002)「小学館の図鑑NEO 動物」小学館  
吉野敏弘(2014)「学研の図鑑LIVE 動物」学研プラス